

# 事業報告書

平成29年度  
(第5期事業年度)

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月 31日

地方独立行政法人 徳島県鳴門病院

## I 基本情報(法人・病院の概要)

- 1 名称 地方独立行政法人徳島県鳴門病院
- 2 所在地 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷3番2番
- 3 法人設立年月日 平成25年4月1日
- 4 設立団体 徳島県
- 5 代表者の役職氏名 理事長 犬伏 秀之
- 6 役員の状況

役員名	区分	氏名	備考
理事長	常勤	犬伏 秀之	元 徳島県農林水産部長
副理事長	非常勤	小森 将晴	日本赤十字社徳島県支部事務局長
理事	常勤	邊見 達彦	病院長
理事	常勤	藤本 浩史	副院長
理事	常勤	阿川 昌仁	副院長
理事	非常勤	島田 清	弁護士
理事	非常勤	濱尾 重忠	県経済成長戦略アドバイザー
監事	非常勤	島内 保彦	弁護士
監事	非常勤	原 孝仁	公認会計士

- 7 組織図 別表のとおり

## 8 職員数（平成29年4月1日現在） 544名

	医師	看護師等	医療技術職	事務職	その他	合計
常勤	42人	282人	70人	39人	15人	448人
非常勤	13人	31人	8人	20人	24人	96人
合計	55人	313人	78人	59人	39人	544人

## 9 設置する病院の概要

- 1) 病院名称 徳島県鳴門病院
- 2) 所在地 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32番
- 3) 許可病床数 一般病床 307床（うち人間ドック6床）
- 4) 主な役割及び機能
  - 救急告示病院      ○災害拠点病院      ○臨床研修病院
  - 地域医療支援病院   ○開放型病院
- 5) 診療科目：14診療科（平成29年4月1日現在）  
 内科／循環器内科／小児科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／  
 耳鼻咽喉科／眼科／産婦人科／泌尿器科／放射線科／麻酔科／  
 形成外科
- 6) 併設施設
  - 健康管理センター      ○訪問看護ステーション
  - 居宅介護支援センター   ○附属看護専門学校

## 10 理念

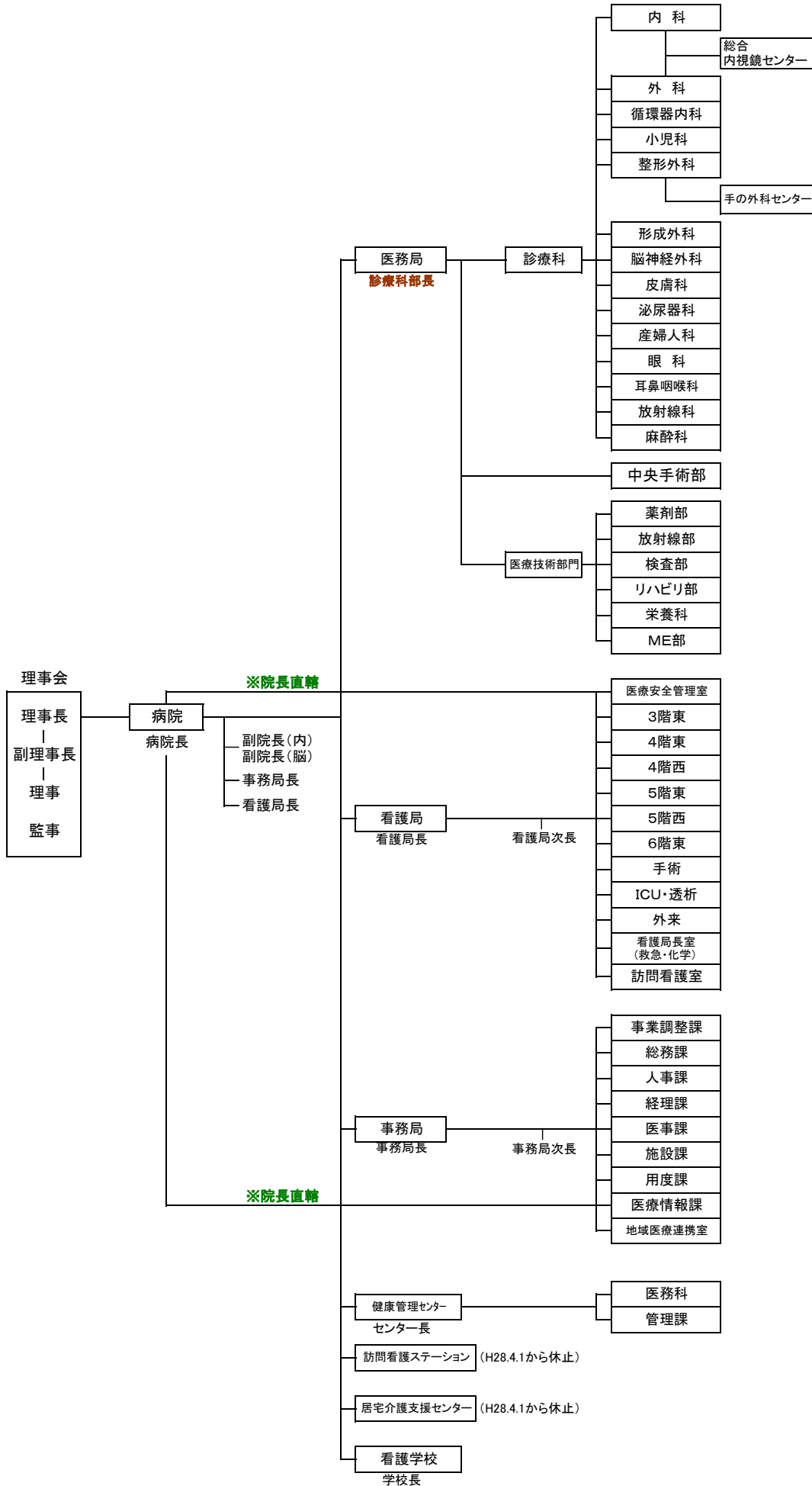
「私たちは皆様に信頼される病院づくりを目指し、安全な医療を親切に提供することに努めます」

## 11 基本方針・基本姿勢

- ・医療の提供にあたっては 全組織力を結集して医療事故ゼロを目標に努めます
- ・患者さま一人ひとりの権利を尊重し 最適な医療サービスを的確に提供します
- ・安心して医療を受けていただける 安全で快適な環境づくりをします
- ・地域医療の発展に向け 基幹病院としての役割を正確に果たします
- ・積極的に健診事業に取り組み 地域の健康づくりに寄与します
- ・人間性豊かな医療人育成のため いきいきと仕事ができる職場づくりをします
- ・組織総合力を高めるべく互いを尊重し合い 患者さま本位に変革する知的集団を目指します

# 地方独立行政法人徳島県鳴門病院組織図

平成29年4月1日



## II 当該事業年度における業務について

### 1 対象期間

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間

### 2 業務内容

#### 1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

##### (1) 診療事業

##### ① 良質かつ適切な医療の提供

- ・ 入院では、新規入院患者5,968人を受け入れ、平均在院日数13.3日で、入院患者延数は79,527人となった。
- ・ 外来患者延数は109,681人となった。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
入院患者延数	79,527人	78,368人	78,512人	76,612人
新規入院患者数	5,968人	6,119人	5,906人	5,770人
平均在院日数	13.3日	12.8日	13.3日	13.3日
手術件数	2,136件	2,160件	2,099件	1,898件

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
外来患者延数	109,681人	110,766人	110,928人	110,004人
新規外来患者数	13,593人	13,988人	14,594人	14,630人

- ・ 最適で確実な治療を提供するため、各種診療ガイドライン等に基づくクリティカルパスを活用した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
クリティカルパス数(入院)	62パス	62パス	56パス	56パス

##### ② 患者の視点に立った医療の提供

- ・ 患者満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に努めたほか、ご意見箱の意見の回収頻度を月単位から2週間毎に改めるなど患者サービスの向上を図った。
- ・ 患者相談体制の充実を図り、発病を契機に生じる様々な問題の相談に取り組んだ。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
患者相談室 相談件数	17,990件	15,263件	16,902件	17,116件

③ 救急医療の強化

- ・ 消防と定期的な連絡会を開催するなど、緊密な連携を図り、救急搬送患者の円滑な受入に努め、救急要請患者受入率90%以上を確保した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
地域救急要請受入率	91.3%	91.2%	92.0%	93.7%
救急患者受入数	6,470人	6,915人	6,696人	6,629人
救急搬送患者受入数	2,317人	2,421人	2,279人	2,272人

④ がん医療の充実

- ・ 地域がん診療連携推進病院として、専門医及び認定看護師を確保し、がん医療の充実に努めた。
- ・ がん化学療法看護認定看護師を配置した外来化学療法室で、がん化学療法及び指導・相談を行った。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
外来化学療法延件数	1,265件	1,262件	1,025件	920件

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
放射線治療延件数	1,521件	1,639件	1,916件	1,502件

※同日の治療は1人1件として集計。

⑤ 生活習慣病に対する医療の促進

- ・ 糖尿病専門医による専門外来、糖尿病看護認定看護師によるフットケア外来、糖尿病教室を実施した。
- ・ 糖尿病医療委員会において、糖尿病教室の運営や、治療薬、電子カルテ上の支援機能の付加など、糖尿病に関して幅広く検討した。
- ・ 高齢化の進行などに対応し、平成29年9月から、午後透析治療を開始した。

⑥ 産科医療や小児医療の充実

- ・ 関係科の支援のもと、無痛分娩や新生児管理を行った。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
分娩数()内は無痛分娩数	227件(37件)	251件(41件)	265件(52件)	293件(40件)

- ・ 助産師の稼働者不足のなか助産師外来・母乳外来を維持した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
助産師外来・母乳外来受診者延数	155件	156件	151件	168件

- ・ 小児救急輪番制が廃止されるなか、日曜日の小児救急体制を維持した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
小児救急患者受入数	294件	286件	362件	510件

⑦ 特徴を發揮した医療の推進

- ・ 手の外科センターにおいて、高度な治療を実施した。

	H29年度	H28年度	H27年度
手の外科手術件数	647件	609件	602件

※労働災害含む。

(2) 地域医療・介護支援

① 医療・介護連携の充実

- ・ 地域医療機関との連携に努め、逆紹介率が上昇した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
紹介率	71.2%	73.9%	72.2%	65.3%
逆紹介率	106.2%	95.6%	86.4%	82.8%

- ・ 地域包括ケア、在宅医療介護の推進に向けて、地域関係機関と連携し、在宅復帰支援を進めた。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
在宅復帰支援人数	209人	213人	204人	200人

- ・ 地域の医療機関との連携を強化し、高度医療機器の共同利用を促進した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
高度医療機器共同利用数	867件	936件	973件	951件

- ・ 地元医師会と連携し、地域の医療従事者の研修会等を実施した。

② 地域への社会貢献

- ・ 玄関フロアにボランティア（看護師）による「健康相談ブース」を設置し、健康相談、血圧測定などを実施した。
- ・ 広報誌「鳴門病院だより」に地域住民の健康に関する記事を掲載するほか、市民実践講座、一日まちの保健室、イベントへの健康相談所の出店等を行い、健康に対する啓発に努めた。

(3) 災害時における医療救護

① 医療救護活動の拠点機能

- ・ 医療機関BCP研修会に参加したほか、徳島赤十字病院の災害訓練を視察した。

② 他地域における医療救護への協力

- ・ 四国DMAT実働訓練検討会、四国DMAT技能維持研修にDMAT隊員等が参加した。
- ・ 徳島県病院ロジスティクス訓練に参加した。

③ 新型インフルエンザ等の感染症対策

- ・ 感染管理室を中心として、年2回の院内感染対策に関する研修を実施するとともに、感染対策マニュアルの改定に取り組んだ。

(4) 人材の確保・養成

① 質の高い医師の確保・養成

- ・ 高度な医療を提供できる医師の養成のため、学会等への参加を推進するとともに、専門医等の取得を促進した。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
医師の医学会等参加件数	139件	139件	120件	139件

- ・ 医学生への広報活動を積極的に行い、初期臨床研修医の受入に努めた。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
初期臨床研修医数（基幹型）	9名	9名	5名	3名

② 医療従事者の確保・養成

- ・ 質の高い医療を提供するため、看護師等の専門性の高い資格・認定取得等を促進した。

・ 主な資格・認定取得等

[ 看護師 ]	認定看護管理者研修修了(ファーストレベル教育課程)	3名
	認定看護管理者研修修了(セカンドレベル教育課程)	2名
	医療安全管理者養成研修修了	2名
	DMAT研修受講	1名
[ 歯科衛生士 ]	認定歯科衛生士セミナー受講	1名

③ 看護専門学校の充実強化

- ・ 病院の充実した実習体制を活かした教育を実施し、卒業生の国家試験合格率は100%となった。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
看護師国家試験合格率	100%	100%	100%	100%
生徒数（5月1日現在）	102名	116名	107名	110名
3年生	25名	40名	28名	33名
2年生	42名	36名	42名	36名
1年生	35名	40名	37名	41名



## 2) 業務運営の改善及び効率化

### (1) 業務運営体制

#### ① 効率的な業務運営の推進

- ・ 運営方針の進捗状況を四半期ごとに取りまとめ、運営会議に報告し、職員に進捗状況を周知、情報を共有した。

#### ② 診療体制、人員配置の弾力的運用

- ・ 医療クランクを確保し、医師の負担軽減を図った。  
医師事務作業補助体制加算 25 : 1

### (2) 業務運営方法

#### ① 県立病院との連携

- ・ 競争入札による透明性や公平性の確保に努めるとともに、複数年契約により費用の節減や事務の効率化に努めた。
- ・ 県立病院との医薬品等の共同購入を行った。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
共同購入医薬品目割合	79.9%	79.4%	91.4%	91.8%

#### ② 収入の確保

- ・ 適切に医業収入を確保するため、各部門別ヒアリング・運営会議・医局会等を通じ目標達成に向けた指示を行うとともに、診療報酬請求のチェック強化に努めた。

### [入院収益]

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
入院収益	4,448,021 千円	4,393,211 千円	4,307,396 千円	4,197,072 千円
入院患者延数	79,527人	78,368人	78,512人	76,612人
新規入院患者数	5,968人	6,119人	5,906人	5,770人
平均在院日数	13.3日	12.8日	13.3日	13.3日
病床稼働率	78.1%	77.0%	76.9%	75.2%
入院診療単価	55,931円	56,059円	54,790円	54,464円

[外来収益]

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
外来収益	1,505,224 千円	1,421,073 千円	1,407,647 千円	1,397,041 千円
外来患者延数	109,681人	110,766人	110,928人	110,004人
外来診療単価	13,717円	12,815円	12,401円	12,355円

③ 費用の抑制

- ・ 後発医薬品への切り替えを進めた。

	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
後発医薬品使用量割合	84.6%	84.0%	78.6%	64.7%